

教育研究業績書

所 属	職 名	氏 名	学位
現代文化学部文化コミュニケーション学科	准教授	三浦 知志	博士(情報科学)
I 教育活動			
教育実践上の主な業績	年 月 日	概 要	
(1)教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)			
議論のファシリテーション	2010年4月～現在	所属する研究室におけるゼミや読書会で積極的に発言し、教員・学生間の活発な意見交換の場を作りだすうえで主導的な役割を担った。	
添削・発表指導	2010年4月～現在	学位論文等の執筆を行う学生のために原稿の添削をしたり、論文審査会のための発表練習を設け、発表について助言したりするなどの指導を行った。	
講義中の視覚的な工夫	2011年4月～現在	講義用のスライド(Microsoft PowerPoint)を作成し、画像資料を多く用いて、また適宜DVD等の映像資料を利用しつつ、学生の興味を引きながら講義を行った。	
学生の主体性の促進	2011年4月～現在	講義ではあらかじめ学生に対し授業内容に関する質問をしておき、学生が問題意識を持ちながら積極的に講義に臨むことができるような工夫をした。	
レポート作成の手引き	2011年4月～現在	レポートの作成方法についての講義も用意し、説得的な文章を書くための指導も心がけた。	
授業評価	2015年後期	東北大学での講義「現代のマンガとアニメーション」のアンケートにおいて、授業の総合的判断の評価「非常に良い」が28人中25人。	
授業評価	2015年前期	東北学院大学での講義「現代の表現文化」の総合評価(5点満点)において、2015年度に4.04点(回答数82人)。	
授業評価	2013年前期	東北学院大学での講義「現代の表現文化」の総合評価(5点満点)において、2013年度に4.22点(回答数99人)。	
(2)作成した教科書・教材・参考書			
特になし			
(3)教育方法・教育実践に関する発表、講演等			
特になし			
(4)その他教育活動上特記すべき事項			
特になし			

Ⅱ 研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著 の別	発行または 発表の年月	発行所、発表雑誌 (及び巻、号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
(著書)					
『ブックガイドシリーズ 基本の30冊 マンガ・ スタディーズ』三輪健 太朗『マンガと映画 コ マと時間の理論』	共著	2020年6月	人文書院	吉村和真、ジャクリ ヌ・ベルント	87-93
型で遊ぶスヌーピー とパタリロ	単著	2019年2月	『ユリイカ』2019年3月 臨時増刊号	三浦知志(1)	211-220
ファイニンガー「ウィー・ ウィリー・ウィンキーの 世界」における登場人 物の主観性について	単著	2015年3月	『マンガ研究』21号	三浦知志(1)	50-79
マンガの読みにおける 運動表象—マンガに 含まれるimplied motionの知覚に及ぼ す文脈情報の影響—	共著	2015年3月	『マンガ研究』21号	三浦知志(4)	31-49
日本のマンガの場面 描写の分析—コマに 描かれる内容の歴史 的変遷—	共著	2014年3月	『マンガ研究』20号	三浦知志(4)	51-73
『ピーナッツ』の描線が 持つ力	単著	2013年9月	『芸術新潮』2013年10 月号	三浦知志(1)	60-70
4コママンガのシー ンの想起における境界 拡張	共著	2013年3月	『マンガ研究』19号	三浦知志(4)	8-28
「イエロー・キッド」の 描画スタイルにおける 均質性の欠如について	単著	2013年3月	『ナラティブ・メディア 研究』4号	三浦知志(1)	15-36
フレデリック・オッパ ーの神業	単著	2013年2月	『ユリイカ』2013年3月 臨時増刊号	三浦知志(1)	176-182
ブリッグス『カートゥ ーンを描き方』にお けるカートゥーンと コミック・ストリッ プの関係	単著	2011年11月	『ナラティブ・メディア 研究』3号	三浦知志(1)	5-25
19世紀アメリカの マンガ史概略—— 論考「コミック・ ストリップの起 源」を参考に		2016年12月	ウェブサイト「M studies マンガ研究フォーラム」 (http://mstudies.org/2016/12/04/398)	三浦知志(1)	

細馬宏通著「ミッキー はなぜ口笛を吹くのか アニメーションの表現 史」		2013年12月	『週刊読書人』2014年1 月3日号	三浦知志(1)	6
(その他)					
Ⅲ 学会等及び社会における主な活動					